

「令和3年度青少年の健全育成に関する意識調査」結果について

1 調査の概要

(1) 目的

青少年健全育成に関する県民の意識や行動について調査を行い、現状の県民意識や行政に対するニーズを把握するとともに、今後の青少年の健全育成の基礎資料とする。

(2) 調査対象

ア 少年（男女） 500人（岩手県内に居住する中学生・義務教育学校後期課程（小中一貫校の7～9年生）の生徒・高校生）

イ 上記少年の保護者 500人

ウ 青年（男女） 1,500人（満20歳から39歳まで）

(3) 調査時期

令和3年10月22日から12月6日まで

（平成15年度から3年に一度実施、前回：平成30年10月）

(4) 回収状況

少年488人（回収率97.6%）、保護者488人（97.6%）、青年430人（28.7%）

※ 前回H30：少年96.8%、保護者95.8%、青年24.4%

2 調査結果のポイント

- 少年による10年後の社会の予想（今よりよくなる・悪くなると思うか）について、「今より悪くなる」が最多であるものの割合は減少（44.0%⇒35.7% △8.3pt）し、「今より良くなる」の割合が増加（25.2%⇒30.1% 4.9pt）した。

- 入学後の地域活動（地域の行事、ボランティアなど）への参加状況について、活動に参加したと回答した少年・保護者の割合が減少し、理由として、新型コロナウイルス感染症の影響による参加機会の減少が挙げられている。

なお、「参加したことがない」と答えた少年の理由として、「その他（新型コロナの影響等）（28.7%）」のほか、「忙しくて時間がとれないから（39.6%）」、「どのような行事があるか知らないから（29.7%）」、「やりたいと思う活動がないから（15.8%）」などが挙げられた。

参加したことがない 少年 20.7%（前回：11.8%） 保護者 29.9%（前回：16.1%）

- 少年・青年のインターネット利用時間について、1時間から3時間程度が多くを占め（少年71.7%、青年60.0%）、また4時間以上の利用が増加（少年12.4%⇒16.8% 4.4pt 青年21.3%⇒32.1% 10.8pt）しており、利用が長時間化する傾向にある。

なお、少年のインターネット等に関する利用実態は下記のとおりだった。

【使用方法について】

- ・ フィルタリングを利用している（56.3%）
- ・ 家族でルールを決めて使用している（50.0%）

【用途について】

- ・ SNSを利用している（77.6%）
- ・ オンラインゲームを利用している（61.2%）
- ・ SNSや出会い系サイトを利用して知り合いになった人と実際に会う（4.1%）
- ・ わいせつ・犯罪・暴力に関するサイトを繰り返しみる（0.4%）
- ・ 出会い系サイトを利用している（0.2%）

3 結果概要

(1) 将来の夢

全対象で「家族と幸せに暮らす」と回答した割合が増加している。

家族と幸せに暮らす

少年 30.3%(前回:29.1%) 青年 56.5%(前回:50.8%) 保護者 63.3%(前回:62.8%)

(2) 将来つきたい(少年につかせたい)職業

少年、保護者ともに「自分(少年)の適性にあっている仕事」が最も多い。また、「お金が儲かる仕事」と回答した割合は、少年と保護者で回答の差が大きい。

自分の適性に合っている仕事

少年 65.2%(前回:67.8%) 保護者 84.8%(前回:83.5%)

お金の儲かる仕事

少年 35.7%(前回:34.7%) 保護者 8.2%(前回:7.1%)

(3) 10年後の社会

少年による10年後の社会の予想は「今より悪くなる」が最多であるものの割合としては減少し、「今より良くなる」の回答割合が増加している。

今より良くなる 30.1%(前回:25.2%)

今より悪くなる 35.7%(前回:44.0%)

(4) 地域への愛着

全対象で、住んでいる地域への愛着が高い傾向が継続している。

住んでいる地域が好き・どちらかといえば好き

少年 90.8%(前回:89.4%) 青年 82.7%(前回:86.1%) 保護者 82.8%(前回:80.6%)

(5) 地域活動への参加

少年、保護者ともに、各種活動への参加が減少しており、理由として、新型コロナウイルス感染症の影響による参加機会の減少が挙げられている。

地域のお祭り、盆踊り

少年 45.7%(前回:67.8%) 保護者 12.3%(前回:58.5%)

レクリエーションやスポーツ大会・運動会

少年 29.3%(前回:38.2%) 保護者 14.5%(前回:41.5%)

参加したことがない

少年 20.7%(前回:11.8%) 保護者 29.9%(前回:16.1%)

(6) 青年の活動

若者が企画するプロジェクトへの関心が高まるとともに、環境保護活動や社会貢献活動などに参加する青年の割合が増加した。

(若者が企画するプロジェクトへの参加に関心がある、やや関心がある) 青年 55.8%(前回:53.0%)

(7) 青少年の日常生活

コミュニケーションの手段として、青年は「SNS」を最も多く挙げている(70.7%)。インターネット利用時間は、少年、青年ともに1時間から3時間程度が最も多く、「4時間くらい」「5時間以上」が増加しており、インターネットの利用が長時間化する傾向にある。

【コミュニケーションの手段】

少年 会って話す:62.5%、SNS:22.7%

青年 会って話す:12.1%、SNS:70.7%

【少年・青年のインターネット利用時間】

少年

青年

1時間から3時間程度 71.7%(前回:65.5%) 60.0%(前回:66.1%)

4時間以上 16.8%(前回:12.4%) 32.1%(前回:21.3%)

(8) 青少年に必要なもの

青少年に必要なものとして、「青少年が気軽に立ち寄れる施設や場所」への回答が多いほか、前回調査から「青少年の悩みなどを気軽に相談できる場所」へのニーズが増加している。

青少年が気軽に立ち寄れる施設や場所

少年 74.4%(前回:73.1%) 青年 65.1%(前回:61.2%) 保護者 63.5%(前回:58.5%)

青少年の悩みなどを気軽に相談できる場所

少年 56.4%(前回:47.9%) 青年 64.9%(前回:55.7%) 保護者 56.8%(前回:49.7%)